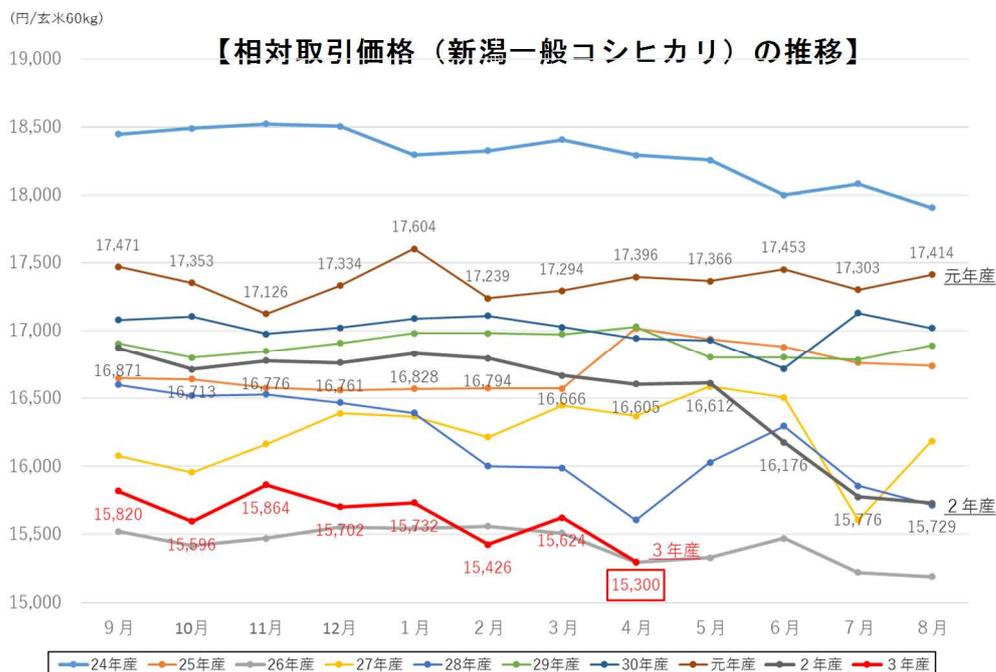
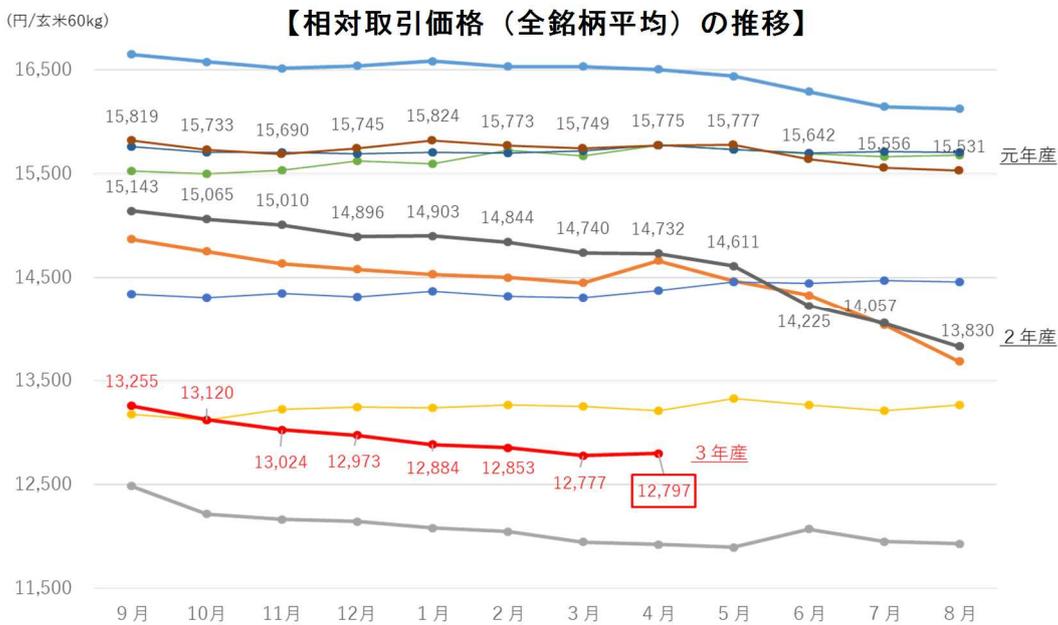


## 《特集①》

**令和3年産新潟一般コシヒカリの相対取引価格は最安値を更新、引き続き非主食用米への転換を！**

農林水産省が発表した令和3年産米の4月の相対取引価格によれば、全銘柄平均では60kg当たり12,797円となり、今年産で初めて上昇に転じました（前月差+20円）。一方で、新潟一般コシヒカリは60kg当たり15,300円となり、前月より324円下落しています。

令和4年産米において、更なる米価下落を招かないよう、需要のない主食用米については、引き続き飼料用米等の非主食用米への転換を図りましょう。



## 《特集②》

### 国は、国産小麦の安定供給体制を緊急的に整備する 新事業を打ち出しました

小麦の国際相場は、北米産の不作等に加えて、ロシアのウクライナ侵攻により小麦等の供給懸念が高まったことで、高水準での不安定な動きとなっています。小麦の国内需要の大半を輸入に依存している我が国においては、国際的な供給懸念や価格高騰の影響を受けやすい構造にあり、食品関連企業においても、原料を外国産から国産に見直す気運が高まっています。

そのため、農林水産省は、外国産麦から国産麦への切り替えを推進するため、「**国産小麦産地生産性向上事業**」を打ち出しました。

この機を逃さず、令和5年産において、小麦等の導入を検討してみましょう。

#### 対象作物

水田に作付ける令和5年産小麦及び大麦

#### 採択要件

- 作付けの団地化に向けた取組を行うこと。
- 団地化率の向上、単収向上、作付面積拡大等の成果目標を設定すること。

#### 支援内容

- 地域農業再生協議会や農業者団体への支援
  - 1 団地化に向けた話し合い等の支援（定額）**  
事業実施主体が実施する団地化等を推進する際に、必要な経費について支援
  - 2 営農技術導入支援**  
国産小麦等の安定供給に向けた生産性向上のために取り組む営農技術の導入に対し、取組面積に応じて、**最大 15,000 円/10a を支援**
  - 3 機械・施設の導入支援（1/2 以内）**  
50 万円以上 5,000 万円未満の機械等が対象（リース導入の場合、リース期間は2年以上で法定耐用年数以内の物のみ対象）
  - 4 生産拡大支援**  
上記の2または3に取り組む場合に限り、国産麦の生産を拡大する際に、作付けの増加面積に応じて **10,000 円/10a 助成**

※ 事業の詳細については、以下の農林水産省ホームページで確認して下さい。  
[https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/mugi\\_kanren.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/mugi_kanren.html)